

株 主 の 皆 様 へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION



第94期 事業報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで 証券コード：2114

 フジ日本精糖株式会社

# ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第94期事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や継続した日銀の金融緩和策等により、緩やかな景気回復基調を示しています。

しかしながら、中国をはじめとする新興国経済に一抹の不安が残り、東アジア、中近東での地政学リスク、さらに欧州各国での選挙等を控え、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、2016年4月より成長を目指した基盤固めと新規事業のさらなる育成を掲げて、3カ年中期経営計画をスタートしましたが、グループ全体では、前年同期比、増収、増益となりました。

当社の主力事業である精糖事業では、一時インバウンド需要などで下げ止まった国内消費が、止まる気配のない少子高齢化、加糖調製品の輸入等により、再び減少傾向となりました。

精糖事業では商権を維持しながら、液糖生産を共同生産工場である太平洋製糖株式会社に集中化するなど、さらなる効率化に努め生産性向上を図っております。

機能性素材事業においては、タイ国イヌリン工場の生産安定化に努め、販売を日本だけでなく、タイや東南アジア地域に伸ばすことが最大の目標となります。

また、切花活力剤事業やフードサイエンス事業では、収益の安定化を図り、清水工場活用の一環として、商権拡大に努めてまいります。

子会社ユニテックフーズ株式会社においては、主力のペクチンやゼラチンの販売強化に加え、品質改良材事業の拡販を行い、次の事業の柱とすることが新たな目標となっております。

昨年生産販売を開始したタイ国での製パン事業は、好調な販売を続けております。新たな事業分野としてタイ国はもちろんのこと、東南アジア地域で、さらに拡大していく所存です。

不動産事業は、賃貸事業が中心ですが、資産の見直しを行う等、より効率化を目指して安定収益の確保に努めております。

かかる状況下、当社は、下記5つの経営方針、5つの基本戦略を継続し、3カ年計画を推し進めて、「夢のあるたくましい会社」を目指して、役職員一同全力を尽くしてまいりますので、株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 【経営方針】

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③ 公正で透明性のある企業活動の推進
- ④ 社会に評価される企業価値の向上
- ⑤ 社会に貢献する企業市民活動の充実

## 【基本戦略】

- ① 収益力の向上
- ② 事業の多角化の展開
- ③ 海外展開へのさらなる挑戦
- ④ 企業ガバナンスの強化と社内体制の充実
- ⑤ 人財の育成・確保

2017年6月



代表取締役社長 船越 義和

## CONTENTS

ごあいさつ	..... P 1
トップインタビュー	..... P 3
セグメント別の状況	..... P 5
連結財務諸表	..... P 7
会社の概況／株式の概況	..... P 9
トピックス	..... P10
インフォメーション	..... 裏表紙

### ● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田 和人が撮影した作品です。



撮影地 - 山梨県 河口湖 - 「初夏の湖畔」



**Q** 当期（2017年3月期）の営業状況をご説明願います。

**A** 売上高は微増ながら利益は精糖、機能性素材とも悪化。中計初年度として基本戦術への布石を打ちました。

当期の売上高は、精糖事業において製品出荷価格の引き上げが行われる中、前年同期並みの販売量を維持したことなどから、193億4千7百万円（前年同期比0.2%増）となりました。利益面は、国産原料糖の仕入コスト上昇に加え、「イヌリン」やユニテックフーズ株式会社の低調による機能性素材事業の損失計上が響き、営業利益6億2千万円（同35.3%減）、経常利益8億5千6百万円（同10.6%減）と前年同期を下回りました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は7億1千3百万円（同14.5%増）と増益を確保しました。

当期は3か年中期経営計画の初年度として、基本戦術に掲げる「ベース事業の維持」「機能性素材事業の育成」「新ビジネスの開拓」への布石を打ってきました。

ベース事業の維持では、精糖事業において、販売効率化や機能性素材事業との営業連携を図りつつ、コスト低減に向け共同生産工場である太平洋製糖株式会社への液糖生産の集中化による生産性向上に取り組んでいます。機能性素材事業では、「イヌリン」の製造・販売戦略をグループ内で一元化し、意思決定・実行のスピードを上げるべく、2016年12月にタイ国のFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.を完全子会社化しま

した。新ビジネスについては、前期より開始したタイ国の製パン事業の生産安定化に努め、販売を日系コンビニエンスストアから地場および日系の量販店にも拡大しました。

**Q** 次期（2018年3月期）の展望をお聞かせください。

**A** 「イヌリン」事業に関しては、国内では、機能性表示を活用し、販売拡大に弾みをつけ、海外ではタイ国を始めとしたアジア圏での本格的な販売を開始します。

次期は、引き続き顧客重視の営業と原材料仕入の安定化および製造コスト削減により精糖事業の増収増益を確保しつつ、機能性事業の黒字転換に向けて「イヌリン」の国内・海外における販売を強化していきます。これにより業績予想は、売上高200億円（当期比3.4%増）、営業利益8億5千万円（同37.0%増）、経常利益10億円（同16.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億2千万円（同13.2%減）を見込んでいます。

「イヌリン」については、今般、国内販売拡大のカギとなる「整腸作用に係る機能性表示の申請」が消費者庁に正式に受理されたことから、当該機能性表示を武器に、国内ユーザー向け販売により一層の弾みをつけます。さらに海外市場においては、製造工場のあるタイ国での本格的な販売を開始し、その他周辺アジア圏での拡販も目指します。

連結子会社のユニテックフーズ株式会社においては、従

来の主力天然素材のユーザー開拓によるシェア拡大や品質改良材の拡販に注力します。

新ビジネスの製パン事業は、製品開発と生産安定化への注力によりタイ国での地盤を固めた上で、周辺国向けにロングライフの利点を活かした輸出を行っていく考えです。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 感謝を込めて合併15周年の記念配当を実施。次の20周年に向けて飛躍への足掛かりを築いていきます。

おかげさまで当社は、2016年10月1日をもって合併15周年を迎えました。株主の皆様への感謝を込め、当期の期末配当において、1株当たり1円の記念配当を実施させていただきました。これにより今回の配当額は、同10円の普通配当と合わせて同11円となりました。

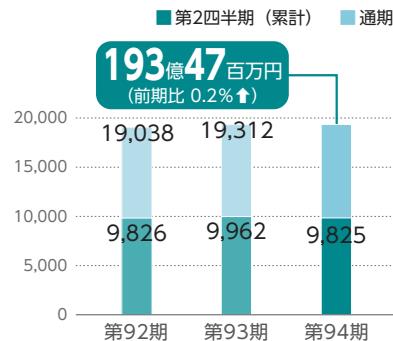
当社は、中期経営計画が目指す「成長への基盤固めと新規事業の育成」を実現すべく、先に述べました基本戦術を着実に遂行し、次の合併20周年に向けて新たな飛躍を遂げるための足掛かりを築いてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社事業の将来における発展にご期待いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

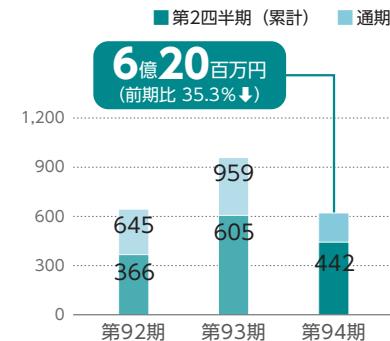
連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

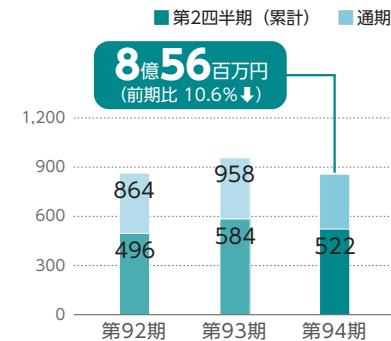
売上高 単位：百万円



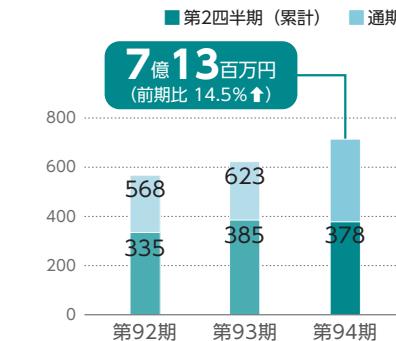
営業利益 単位：百万円



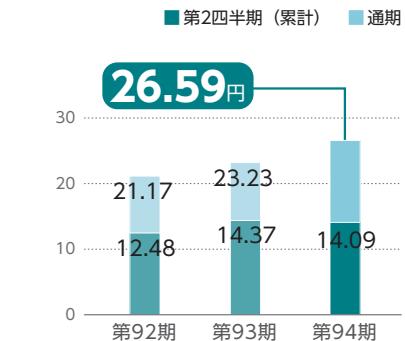
経常利益 単位：百万円



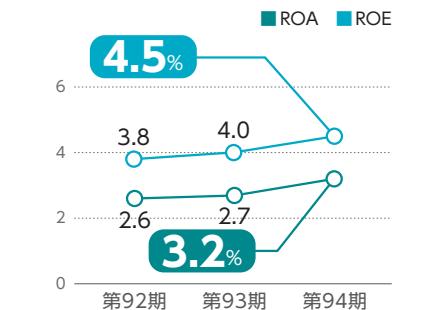
親会社株主に帰属する当期純利益 単位：百万円



1株当たり当期純利益 単位：円



総資産利益率 (ROA) 自己資本利益率 (ROE) 単位：%





### 精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当期の概況

売上高：12,255百万円  
営業利益：1,156百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況は期初ニューヨーク先物市場15.40セント（1ポンド当たり）で始まり、世界の砂糖需給が各地の異常気象のため2期連続で大幅な供給不足になるとの見通しから、10月には最高値の23.90セントをつけました。その後、生産が消費を大きく上回るとの見通しから18セント台まで下げました。年明けにはインド減産見込みなどから一旦は反発したものの、大きく回復する力はなく再び下げに転じ、16.76セントにて期末を迎えました。

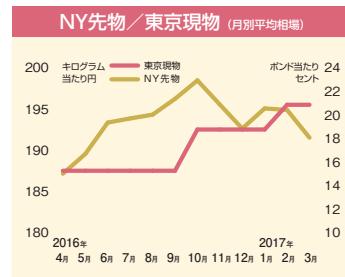
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
15.40	23.90	14.00	16.76	19.45

一方、国内製品市況は期初東京現物相場188円（上白大袋1キログラム当たり）で始まり、海外原糖相場の上昇により10月に製品出荷価格を5円引き上げ、その後、2月に3円引き上げ196円で期末を迎えました。

製品の荷動きについては、総じて当期は菓子類、冷菓などが好調に推移したものの、清涼飲料向けなどが減少したことから、ほぼ前年同期並みの販売数量となりましたが、製品出荷価格の引き上げもあり、売上は若干の伸びを見せました。しかしながら、原料糖買入に係る仕入コストの上昇などにより、営業利益は減少いたしました。

この結果、売上高は12,255百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は1,156百万円（同9.3%減）の増収減益となりました。



### 機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当期の概況

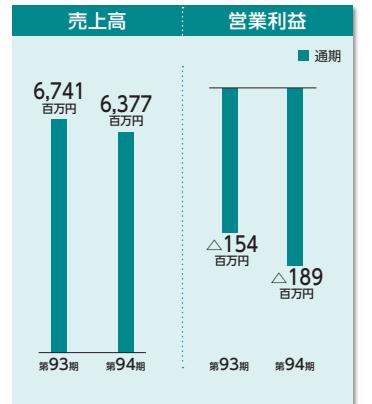
売上高：6,377百万円  
営業損失：189百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品部門ではイヌリンの製造・販売戦略をグループ内で一元化し、意思決定・実行のスピードを上げるべく、タイ国の連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.（以下、FTI社）を100%子会社としました。売上高につきましては、FTI社が生産するタイ産イヌリンへの切り替えや製菓、製パン分野など新規採用件数は順調に増加したものの、大手ユーザー向け販売が回復せず減収となりました。利益面ではタイ産イヌリンの品質安定化にコストを要したこと減益となりました。

切花活力剤部門では、花卉市場が縮小傾向にあるなか、水揚促進剤「ハイ・スピード」も含め拡販を図りましたが、ほぼ前年同期並みの売上高となりました。利益面では原料コストの抑制および製造コストの削減を行った結果、増益となりました。

連結子会社コニテックフーズ株式会社におきましては、前期に好調であった食品素材およびOEMの販売が当期は通常の取引に留まった結果、減収減益となりました。

これらの結果、売上高は6,377百万円（前年同期比5.4%減）、営業損失は189百万円（前年同期 営業損失154百万円）の減収減益となりました。



### 不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

当期の概況

売上高：598百万円  
営業利益：535百万円

不動産事業につきましては、8月に既存所有物件の売却を行ったため減収となったものの、維持管理費などの費用が減少したため増益となり、引き続き安定収益確保に貢献しました。

この結果、売上高は598百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は535百万円（同1.8%増）の減収増益となりました。



### その他食品事業

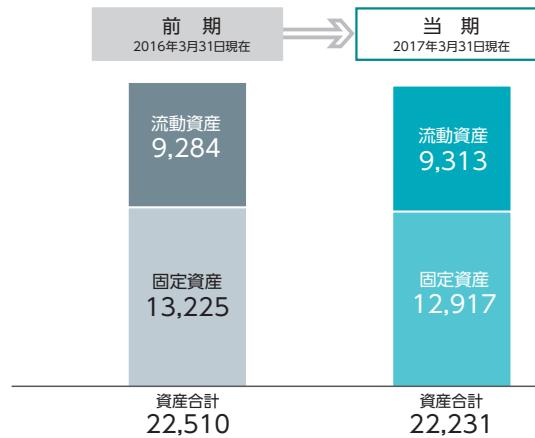
事業内容：タイ国においてパンの製造販売を行っております。

その他食品事業につきましては、DAY PLUS (THAILAND) CO.,Ltd.の製パン事業ですが、セグメント業績は当期より連結していますので前年同期比の記載はありません。なお、当期の業績は売上高116百万円となりましたが、工場本稼働の立ち遅れにより営業損失117百万円となりました。

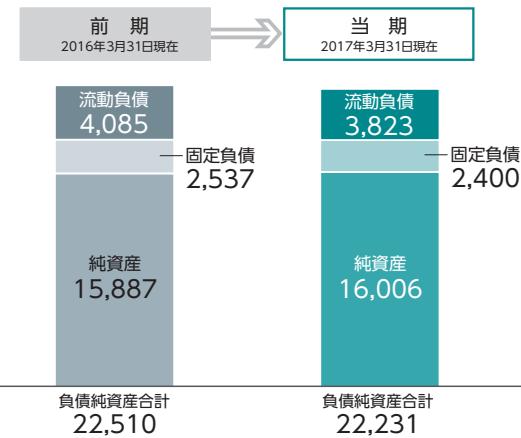


連結貸借対照表

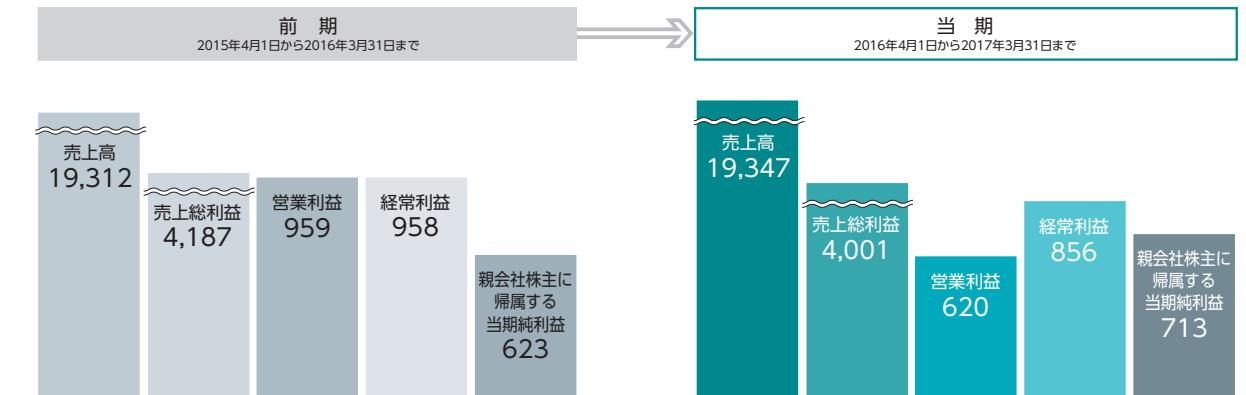
● 資産の部 (単位: 百万円)



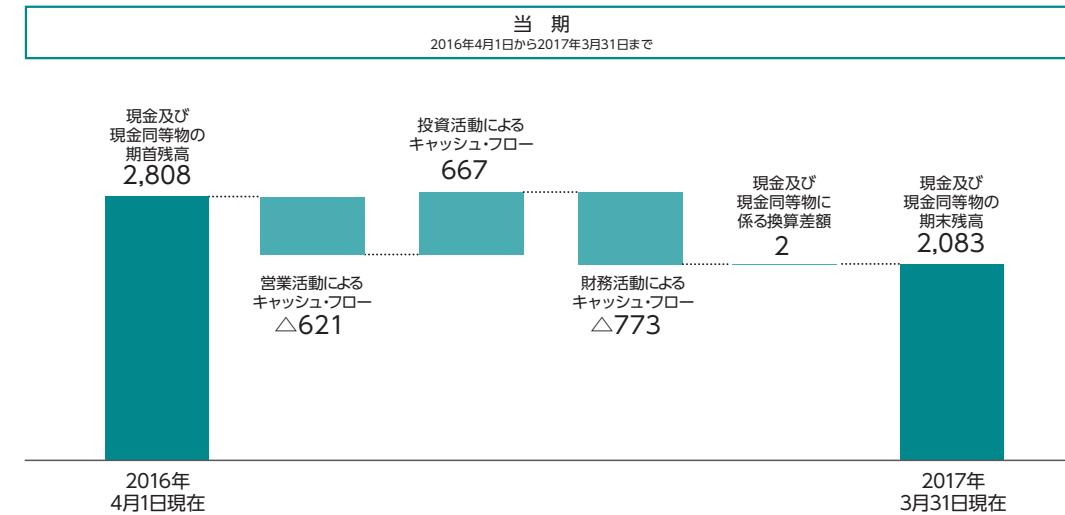
● 負債の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前期末に比べ0.3%増加し、9,313百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前期末に比べ2.3%減少し、12,917百万円となりました。これは主に関係会社長期貸付金の減少等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前期末に比べ6.4%減少し、3,823百万円となりました。これは主に未

払法人税等および未払消費税等の減少等によるものであります。

また、固定負債は前期末に比べ5.4%減少し、2,400百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前期末に比べ0.8%増加し、16,006百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加および親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

会社概要

商号	フジ日本精糖株式会社
英文名	Fuji Nihon Seito Corporation
設立	1949年(昭和24年)7月
資本金	1,524百万円
従業員数	65名
本社所在地	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号 電話 03(3667)7811(代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.
関連会社	太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社

役員 (2017年6月23日現在)

代表取締役社長	船越 義和
取締役専務執行役員	櫻田 誠司
取締役常務執行役員	櫻田 礎久
取締役常務執行役員	佐塚 真弘
取締役	市村 由昭
取締役	村上 光廣
常勤監査役	福田 弘
監査役	上平 徹
監査役	北尾 孝司
監査役	内藤 健雄

執行役員

上席執行役員	小島 康克
執行役員	大口 真央
執行役員	関根 郁也
執行役員	和田 正

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

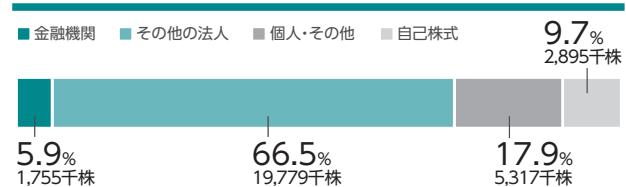
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	11,720名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
双日(株)	8,153	30.4
豊田通商(株)	2,459	9.2
鈴与(株)	1,902	7.1
和田製糖(株)	1,192	4.4
(株)静岡銀行	792	3.0
(株)榎本武平商店	758	2.8
小倉運輸(有)	669	2.5
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	600	2.2
(株)サカタのタネ	563	2.1
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7

(注) 持株比率は自己株式(2,895千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2016年4月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



グループ会社紹介

「DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.」

DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.は、2014年9月に当社の新規事業展開を目的としてタイ国に設立した製パン事業の合弁会社です。2016年2月には、さらなる事業展開の推進を図るため、同社株式を追加取得し、連結子会社といたしました。

ロングライフパンは、タイ国の大手コンビニ向けに販売をスタートして以来、好評を博しており、各種量販店やガソリンスタンド向けの販売も始まりました。販路の拡大とともに、製品開発も進んでおり、次第に製品の種類も増えてきております。

今後は、タイ国内での販売基盤をさらに固めるとともに、ロングライフパンの特性を活かして、カンボジア・ミャンマー・ラオス等のタイ周辺国およびアジア各国向け輸出販路の拡大を図ってまいります。



DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.工場



ロングライフパン

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.fnsugar.co.jp">http://www.fnsugar.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、2017年8月14日以降の連絡先は以下になります。  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株主優待について

毎年3月31日現在で当社株式をご所有の株主の皆様には、所有株式数に応じた当社商品詰合せを、毎年6月に贈呈いたします。

100株以上	1,000円相当の自社製品
1,000株以上	3,000円相当の自社製品

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や商品情報など様々な情報をご覧いただけます。また、ネットショッピングもお楽しみいただけます。

フジ日本精糖 検索  
<http://www.fnsugar.co.jp/>



**フジ日本精糖株式会社**

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号  
TEL : 03-3667-7811 <http://www.fnsugar.co.jp/>

**UD  
FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。